2024 年 11 月 11 日

各校各位

明治学院大学

本学での「入学前教育」の取り組みについて

推薦入試で合格した受験生に対し「入学前教育」を実施している学部・学科の取り組みについて、下記の通りご紹介いたします。詳細は各学科よりご連絡がありますが、ご連絡のタイミングは学科によって異なります。なお、掲載のない学科は入学前教育を実施していません。

記

【文学部　英文学科】

英文学科では、入学後に充実した 4 年間を送っていただくために、推薦入試に合格され入学手続きをしてくださった方を対象に Pre-entrance One-day Seminar を開催しております。Seminar では英語能力の伸ばし方、大学での勉強法など、大学生に相応しい学習姿勢を一足先に学んでいただきます。

今年度は 12 月 21 日（土）にオンライン（Zoom）で開催いたします。具体的内容につきましては、英米文学や言語学など専門分野の導入に役立つ参考図書を紹介したり、学習に役立つオンラインリソースなどを提供しながら、入学前の準備に関する指導を行うと同時に、入学後の勉強方法なども説明いたします。また、模擬授業も行いまして、４月からの大学生活をシミュレーションしていただきます。さらには、在校生の先輩によるヴァーチャルキャンパスツアーや、先輩の生の声を直接聞いていただける機会も予定しております。お忙しいでしょうが、これから大学入学までの時間を有効に使っていただくための貴重な機会ですので、可能な限りご参加いただけますようお願いいたします。詳細は、学生ポータルサイト「ポートヘボン」にてご案内予定です。ポートヘボンへのログイン方法は、合格通知書に同封の案内をご覧ください。

【文学部　フランス文学科】

フランス文学科では、推薦入試合格者を対象に独自の入学前教育プログラムを実施します。「図書リスト」にある本に関するプレゼンテーションをしてもらいます。

まずは、「図書リスト」をよく見て最も興味を惹かれる本を選んでください。本屋に行って実際に手に取って見てみることが大切です。次に送付される「読書ノート」にある事項を記入しながら、本を熟読してもらいます。漠然と本を読むのではなく、問題意識を持ちながら批判的に読む訓練をしてもらいます。そして、「プレゼンテーションの準備方法」を参考にしながら３分の発表を準備してもらいます。どのような点に注意して発表を準備するべきかは「評価シート」を見てください。

この入学前教育プログラムは自らの知的好奇心を広げ、批判的なものの見方を養うこと、さらには人前で発表する技術の初歩を学ぶことが目的となっています。これらは４年間の大学教育の中核となります。大学での学びをより有意義にするために積極的に取り組んでください。具体的な指示は、１月頃に手紙でお知らせします。

【経済学部　経済学科、経営学科、国際経営学科】

経済学部では、推薦入試によって入学して来る皆さんに、合格発表から入学までの期間を有効に利用していただくため、通信方式の「明治学院大学　経済学部　入学準備プログラム」を用意しています。

大学での学びは高校とはかなり異なるため、入学後に戸惑いを覚える新入生も少なからず見られます。このプログラムは、推薦入学制度によって早い時期に入学が決定した皆さんに、高校から大学への移行を少しでも円滑にし、また入学後の学びに役立てていただくことを目的としています。

プログラムは、「数学」、「英語」および「国語」からなり、教材は「駿台教育研究所」に委託して経済学部の教員の助言の下に作成します。「数学」は高校で習ったことの復習が中心です。「英語」と「国語」は入学後の学習の準備と考えてください。それぞれ図書を指定し、読解問題に加え、論述式の課題によって論理的な文章の作成方法を学びかつそれ

を実践してもらいます。日本語・英語を問わず、文章を読み理解した上で、自分の考えを表現することは、入学後の勉学に必ず役立ちます。プログラム等の詳細は、合格発表後に別途お知らせします。

本プログラム受講に当たり、20,000 円程度の費用の負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者全員が受講するようお願いしています。

【社会学部　社会学科、社会福祉学科】

社会学部では、推薦入試による入学予定の皆さんに、入学準備プログラムを実施しています。入学までの期間を利用し、4 月から始まる社会学、社会福祉学の学びの準備を進めてください。具体的には、「英語」「国語」「社会」について、高校時に学習した内容を通信方式で振り返り、身についた知識としたうえで、大学の講義に臨めることを目的としています。（教材は「駿台グループ」に委託し、社会学部教員の助言に基づき作成しています。）

「英語」は長文読解、「国語」も課題図書を読み、要約や記述を行ったうえで返却する方式です。「国語」については、詳細な添削をしたうえで返却しますが、一定レベルに達していない場合は再提出をしていただき、二回目の添削をしたうえで再返却します。これらは、大学の多くの講義で課される文献講読やレポート執筆の基礎となる内容です。また、「社会」は近現代社会の成り立ちや福祉政策につながる領域を中心に、基礎的な知識を復習するとともに、それらを体系的に整理して、社会問題等のしくみを理解する基礎を作ります。ぜひ、プログラムの中で再学習し、4 月からの学びに生かせるようにしてください。プログラムの詳細については、合格発表後に別途お知らせします。

受講にあたり、20,000 円程度の費用負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者は全員が受講するようお願いします。

【法学部 法律学科】

法学部法律学科では、推薦入試合格者を対象に、①「推薦入試合格者ガイダンス」および②「入学準備プログラム」（受講料：18,000 円～18,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕）を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

① 推薦入試合格者ガイダンスは、12 月 21 日（土）に白金キャンパスで開催予定です。当日は、推薦入試に合格された皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、オリエンテーションを行うほか、入学準備プログラムについての説明などを行います。

② 入学準備プログラムは、法律学科での学びに必要となる読解力や論述力の養成と時事問題に関する基礎知識の習得を目的として、「英語」、「国語」および「時事問題」の 3 科目で行います。内容は、英語は主に法制度に関係する長文読解（2 回）、国語は課題図書（1 冊）の要約・読解（2 回）です。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します）。また、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準 2 級）の教材を独習して 2 月 8 日（土）にニュース検定試験を受験してもらいます。入学準備プログラムに取り組むことにより、入学後、大学での学びにスムーズに入っていくことができます。詳細は上記 12 月 21 日（土）開催予定の推薦入試合格者ガイダンスでお知らせしますので、全員受講して下さい。

【法学部　消費情報環境法学科】

法学部消費情報環境法学科では、特別入試（自己推薦 AO 入試を含む）の合格者を対象に、①「特別入試合格者ガイダンス」および②「入学準備プログラム」（受講料：18,000～18,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕）を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

① 特別入試合格者ガイダンスは、12 月 21 日（土）に白金キャンパスで開催予定です。当日は、特別入試に合格された皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、オリエンテーションを行うほか、入学準備プログラムについての説明などを行います（詳細は、対面、オンラインまたは両者併用開催かも含めて合格発表後に別途お知らせします）。

② 入学準備プログラムは、消費情報環境法学科での学びに必要となる読解力や論述力の養成と時事問題に関する基礎知識の習得を目的として、「英語」、「国語」および「時事問題」の 3 科目で行います。内容は、英語は主に法制度に

関係する長文読解（2 回）、国語は課題図書（1 冊）の要約・読解（2 回）です。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します)。また、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準 2 級）の教材を独習して 2 月 8 日（土）にニュース検定試験を受験してもらいます。入学準備プログラムに取り組むことにより、入学後、大学での学びにスムーズに入っていくことができます。詳細は特別入試合格者ガイダンスでお知らせしますので、全員受講して下さい。

【法学部　グローバル法学科】

グローバル法学科では、推薦入試（AO 入試を含む）の合格者全員を対象に、合格者発表から入学までの間に、①本学科における学修の基礎力となる読解力・文章作成能力、②時事問題に関する基礎知識の習得、および③英語の語彙力・表現力の養成により、入学後の授業にスムーズに対応できるように、「入学準備プログラム」を実施します（受講料：18,000 円～18,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕） 。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

① については、国語と英語の 2 科目について、それぞれ 2 回の課題提出が課されます。国語では、課題図書を読んだ上で、記述問題を解いてもらいます。英語では、長文読解問題を解いてもらいます。皆さんから提出していただいた答案は添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します)。

② については、時事問題は、時事力を付けてもらうためにニュース検定（準 2 級）の教材を独習して 2 月にニュース検定試験（2 月 8 日（土））を受験してもらいます。

③ については、さらに英語の語彙力・表現力を高めるために、英語の自習教材を指定し、進行状況を自分でチェックリストに記入しながら自習する課題を課します。チェックリストは入学後に提出することになります。

「入学準備プログラム」の説明会は 12 月 21 日（土）に白金キャンパスで開催する予定です。詳細は、合格発表後に別途お知らせします。

【法学部　政治学科】

法学部政治学科では、推薦入試による入学予定の皆さんに、「入学準備プログラム」を実施します。具体的には、大学での学びに必要となる読解力、論述力、社会の問題に対する幅広い知識・関心を養成するため、「英語」「国語」「ニュース検定（準 2 級)」に取り組んでいただきます。英語は時事問題を中心とした長文読解（2 回)、国語は課題図書（1 冊）の要約・読解（2 回）です。提出された答案については、詳細な添削を行った上で返却し、答案が一定の評価に達していない場合には、答案の再提出を行ってもらいます。また、ニュース検定（準 2 級）については、教材を独習し、2 月 8 日（土）にニュース検定試験を受験していただきます。プログラムの受講にあたり、18,000 円～18,500 円程度〔参考図書・テキスト代は別途必要〕の費用負担となりますが、プログラムの意義を理解していただき、入学予定者全員にこの受講をお願いしています。詳細については、12 月 21 日（土）に白金キャンパスで実施予定の「推薦入試合格者ガイダンス」にてお知らせいたします。

【国際学部　国際学科】

国際学部国際学科では、推薦入学に合格した皆さんが時間を有効に活用して入学後の学習に備えるために、次の 3 つの入学前教育を実施しています。これらの受講は原則として必須としております。留学生の皆さんも受講していただきますが、渡日前の場合など、状況に応じて「1. 読書課題」に替わる課題を追ってお知らせします。

入学前教育は以下の内容から構成されています。

1. 読書課題：新書 5 冊（うち学科推薦図書リストから 3 冊）を読んで読書メモを作る課題です。本を読む習慣を身につけ、自分の考えを分かりやすい言葉で表現する能力を養います。提出物は入学後に教員が確認し、コメントをつけて学生に返却します。
2. 英語課題：リーディングとリスニングの問題から構成されます。各自で事前に解答を準備し、入学後に大学のオンラインシステムを通じて提出してもらいます。

3. 国際学科入学準備プログラム：(株) Z 会と提携して実施する日本語と英語のライティング講座です（15,000 円程度の料金が発生します)。日本語の小論文と英作文の課題を通して論理的な文章の書き方を身につけます。提出した課題は添削を受けて再提出してもらいます。

【国際学部　国際キャリア学科】

国際学部国際キャリア学科では、4月に入学される特別入試（自己推薦AO入試を含む）の合格者全員に対し、英語による授業に円滑に取り組めるようにするため、「国際学部国際キャリア学科 入学プログラム」の３つのアクティビティを用意しています。

1．専門書を含む書籍・論文の読解力並びに発言能力の向上のためのプログラムで、入学者がリストアップした政治・経済・文化・社会の文献（英語および日本語）の中から一つ以上を読み、文書で自分の感想をまとめます。そして、一年生の「Introductory Seminar」の授業で履修者全員が発表を行い、その後にグローバル化の問題・課題に関する意識を高めるため、教員と学生が発表の内容を踏まえて文献の課題を議論します。

2．全ての講義、演習などは英語で行いますので、入学前にご自身の英語能力の向上をさせることを強く推奨します。入学後に必要なAcademic English（学術英語）の力を高めるため、自習できる学習方法・参考になる英語のサイト・英語復習プログラムを紹介します。

3．12月の下旬に、合格者の皆さんを対象に「Welcome to GTS」というガイダンス・セッションを行います。その時に学科の紹介、入学準備の説明などを行います。

詳細は12月上旬の合格発表後に別途お知らせします。

【心理学部　心理学科】

心理学部心理学科では、推薦入試によって入学される皆さんに対し、「入学準備プログラム」を実施しています。入学までの期間を有効に利用し、本学科の授業に対応できる準備を進めることが目的です。プログラムでは、学科がリストアップした図書を読むこと、そしてその一部について課題を提出することが課されます。心理学の概論、心理統計、カウンセリング、英語、レポートの書き方に関する図書を紹介する予定です（詳細は、合格発表後 1 月初旬までに送付する書類によりお知らせします)。

【心理学部　教育発達学科】

教育発達学科では、推薦入試合格者全員を対象に、入学後に教育発達学科での学習を円滑にすすめることができるよう、入学前教育プログラムを実施します。このプログラムでは、①国語・英語の読解力と表現力の維持と向上を目的としたウォーミングアップ講座（14,000 円（税別)）が必須です。本学科の推薦入試合格者の皆さんは、プログラムの意義を理解し、必ず参加していただけますようお願い致します。

①に加えて、②教育発達学科での学びに必要となる数学・理科・英語の教科別学習プログラム（10,000 円（税別)）を追加選択することができます（①と②で計 24,000 円（税別)）。

①では、教育発達学科での学びに関連したテーマの長文（日本文と英文の２種類）を読み、文献を調べ、調べた内容について考え、自分の言葉でまとめることが含まれます。②では、数学・理科・英語のうち入学までに基礎固めをしておきたい科目を１つ選択できます。12 月から 3 月にかけて、3 回に分けて課題に取り組み、添削・採点およびフィードバックを受けることで、大学生としての学びの基礎を培います。

【情報数理学部　情報数理学科】

情報数理学部では、推薦入試合格者を対象に、入学準備プログラムを実施します。対象科目は数学で、入学後の学修が円滑に行えるよう、高校までの数学の基礎力を定着させることが目的です。具体的には、本学教員の助言の下で作成された問題について、委託先の外部業者による通信添削を受講していただき、高校数学の総復習を行います。本プログラムの受講にあたっては、10,000 円程度の費用負担をお願いすることになります。入学後は直ちに高校数学の理解を前提とした授業が始まります。全員が受講の上、授業開始に備えていただくようお願いいたします。

以　上